



ながおかし議会だより

198号
2016.9.1
編集・発行/長岡市議会

ホームページで議会の録画映像を配信中 → <http://www.city.nagaoka.niigata.jp/shigikai/index.html>



観音寺と八石山(小国)



やな場(川口)



日本海に沈む夕日(寺泊)



中山隧道(山古志)

議員表彰

全国市議会議長会及び北信越市議会議長会から、永年にわたり市政発展に尽くした功績が認められ、5名の議員が表彰されました。



古川原直人議員 (在職10年以上) 杵淵俊久議員 (在職15年以上) 小熊正志議員 (在職25年以上) 関正史議員 (在職15年以上) 山田省吾議員 (在職10年以上)

6月定例会

一般会計補正予算を可決

6月定例会は6月14日から27日までの14日間の会期で行われました。平成28年度一般会計、特別会計の補正予算など市長提出議案等30件、請願1件を審議しました。
議案の審議結果については、5ページの会派別議案等賛否一覧表をご覧ください。

補正予算の概要

- 若者発・子育て応援事業費 470万円
- 市の魚「錦鯉」オリジナルブランド推進事業費 1,067万4千円
- 地域介護・福祉空間整備等事業費 1,286万1千円
- B型肝炎ワクチン接種事業費 2,231万7千円



提案理由の説明を行う森市長

9月定例会の日程

6 火	7 水	8 木	9 金	10 土	11 日	12 月	13 火	14 水	15 木	20 火	21 水	22 木	23 金	27 火
議会運営委員会	本会議(招集日)	本会議(※)	本会議(※)	本会議(※)		建設委員会	産業市民委員会	文教福祉委員会	総務委員会	特別委員会	決算審査特別委員会	秋分の日	決算審査特別委員会	本会議(最終日) 議会運営委員会

本会議	開会 午後1時 傍聴受付 午後0時30分からアオーレ長岡西棟2階(傍聴受付)にて 定員 65人、車いす席2人、親子傍聴席10人
議会運営委員会	開会 午前11時30分 傍聴受付 午前11時からアオーレ長岡西棟4階(議会事務局)にて 定員 12人
その他委員会	開会 午前10時 傍聴受付 午前9時30分からアオーレ長岡西棟4階(議会事務局)にて 定員 12人

(※) 9月7日(水)~9日(金)の本会議は、一般質問者の人数により日程が短縮される場合があります。

〈目次〉

補正予算の概要……………1	新しい委員の選任……………4
議員表彰……………1	常任委員会の所管に関する質問……………5
一般質問……………2	会派別議案等賛否一覧表……………5
特別委員会の中間報告……………4	市議会の活動状況……………6

6月定例会 12人が一般質問 主な質問と答弁の要旨を掲載します。



広井 晃 議員 (2期・市民クラブ)

退役自衛官の採用について

今後早期に退役自衛官の採用をすべきと考えるが、本市の考えはどうか。

自衛隊が果たす災害派遣の役割は非常に大きく、人命救助、給水、炊き出し、物資輸送などの支援活動は被災自治体、被災住民にとって大変心強いものであり、中越大震災を経験した本市では、その重要性を十分認識している。

また、本市を管轄する陸上自衛隊高田駐屯地から災害時に支援が速やかに受けられるよう、毎年市が行っている総合防災訓練に参加いただいている。自衛隊との連携に向けた取り組みや市役所全体の

危機管理、防災能力の向上を図っていく中で退役自衛官の採用について研究していきたい。

獣害対策について

ハクビシンの被害防止のために実施している取り組みと実績について伺う。

本市では本年4月に長岡市鳥獣被害対策実施隊を立ち上げ、関係部局が連携し、農作物や人身被害の未然防止対策に取り組んでいる。近年、都市の住宅地でもハクビシンの確認されており、住宅への侵入による住環境被害の市民からの相談が平成25年度は16件、26年度は38件、そして昨年度は27件あった。

また、25年度から住環境被害の相談を受けた場合、野生動物の防除専門業者を現地に派遣し対応を行っており、市民からは助かったという声もいただいている。今後本業務の充実と被害防止対策について周知を行っていききたい。



田中 茂樹 議員 (1期・市民クラブ)

多文化共生社会の推進について

多文化共生社会を推進するための今後の方向性について伺う。

現在、本市には約2千人の外国人市民が在住している。日常生活の支援として、多言語による情報誌の発行やFM放送の提供、初歩の日本語習得のための講座や学校での支援などを行っている。

今年度は、施策の指針となる多文化共生大綱を策定することとなっており、留学生や在住外国人の支援をしている方々や、関係団体とのワークショップを重ね、具体的な方針を検討する予定である。

今後も、留学生が所属する各大学や関係機関と連携を図りながら、引き続き多文化共生のための施策を積極的に推進していきたい。

多文化共生社会を推進していく中で、和文教育、国際理解教育に対する本市の取り組みについて伺う。

本市では、国語などの教科書において、機会を捉えて日本の伝統文化に関する教育に取り組んでいる。市内の多くの小・中学校では「ようこそまちの先生事業」を活用し、作法や礼節、伝統的な所作や立ち振る舞いを学んでいる。

また、市独自で保育園から中学校まで継続して外国語指導助手や日本人英語指導員を派遣し、外国語教育に力を入れている。

今後も、日本の伝統文化に誇りと愛着を持ち、国際社会に生きる一員として将来堂々と意見交換などができる人材の育成を目指し、その土台づくりとなる教育に力を注いでいきたい。



中村 耕一 議員 (3期・長岡市公明党)

長岡開府四百年事業について

地方創生の今こそ原点を見つめ直し、未来に繋がる節目と捉え、開府四百年を祝賀し、学び、後世へ継承するイベントであって欲しいと願う。一般的な式典などを開催して終わるだけでなく、本番前後の年も含め、中期的な取り組みで全国・世界に発信していく起爆剤であるべきと思うが、本市の考えについて伺う。

まちの歴史・文化・伝統を改めて見つめ直し、子どもからお年寄りまで、全ての世代が長岡への愛着と誇りを高め、ふるさとの魅力を広く国内外に発信するチャンスであると考えている。

現在、長岡開府四百年記念事業実行委員会において、どのような事業を実施するか検討を進めている。今後もPR冊子を定期的に発行するほか、大正6年に開催された長岡開府三百年祭で実施した事業のように、市民が総参加できる態勢について検討を進めていきたい。

熊本地震から考える 耐震対策について

学校施設の窓ガラスの飛散防止対策は、災害時に子どもたちの怪我を防ぐとともに、避難経路や避難所となる体育館の安全確保など、重要な対策であるが、本市の考えについて伺う。

窓ガラスの飛散から子どもたちの安全を確保することは重要であると認識しており、特に避難所となる屋内運動場には多くの学校で強化ガラスを使用している。今後も国の動向を見極めながら大規模工事等の中で対策を検討していきたい。



加藤 尚登 議員 (3期・市民クラブ)

長岡市の教育について

米百俵の精神を生かした本市の教育内容について伺う。

本市が世界に誇る米百俵の精神は、人づくりを第一とする明治初期の故事に由来している。この精神に基づき本市が行っている「熱中！感動！夢づくり教育」において、現場の校長や学識経験者から「子どもの意欲・やる気が高まった、やる気を引き出している」など高い評価を得ている。

これまでの成果と評価を土台に、今までの理念に志を新たに引き加え、夢を描き、志を立てる力と生き抜く自信を育む理念のもと、さらに施策を進展させていきたい。

家庭教育機能の低下対策と進歩・発展させる必要があると考えるが、本市の考えを伺う。

本市では、訪問型教育相談の強化として、児童・生徒に対し何か変わった様子があればすぐに教育相談や家庭訪問等を行う。きめ細やかな支援を行っている。

また、子どもふれあいサポート事業を平成14年度から実施し、各中学校区ごとの地区サポートチームが地域と連携した家庭教育力の向上に取り組んでいる。

この地区サポートチームは、子どもたちの情報交換やあいさつ運動、登下校の見守りなど、地域の実情に合わせた活動で家庭教育支援チームの機能を担っている。今後も地域や関係機関と密に連携し、家庭教育支援に取り組んでいきたい。

●その他の質問
所有者不明の土地問題とその対策について



諸橋 虎雄 議員 (4期・共産党市議団)

支所庁舎の耐震化について

昭和56年以前に建設された栃尾・中之島・与板・川口の4支所庁舎の耐震診断の実施状況及び耐震改修や建て替えについて、本市はどのように考えているか。

中之島・栃尾・川口の3つの支所庁舎で耐震診断を実施した結果、栃尾・川口支所については基準を満たしていないという結果であった。また、与板支所庁舎では耐震診断を実施していないが、耐震改修などの対応が必要であると認識している。

支所庁舎の耐震化や建て替えについては、まずは地域の将来像について検討し、その上で支所の役割

集中豪雨災害対策について

平成25年7月・8月豪雨災害では、谷内1丁目、2丁目、栃尾本町において床上・床下浸水の被害が発生した。この災害から3年近くが経過したが、本市ではどのように検討し、対策を講じてきたのかを伺う。

近年、地震や集中豪雨などの自然災害が頻発する中で、市民の安全・安心と財産を守ることは大変重要な課題になっている。この豪雨災害を受け、同年9月には関係10区長連名の復旧要望書が提出されたことから、河川の管理者である新潟県は周辺民家の浸水被害を軽減するための河床掘削・整正を進めてきた。

今後も市と地元が連携し、地元熱意をしっかりと県へ伝えていきたい。



服部 耕一 議員 (1期・共産党市議団)

保育に関する問題について

年度途中では希望する保育園に入園できない実態にあると聞いている。速やかな改善を図るべきと思うが、本市の考えについて伺う。

本市の年度途中での入園については、育児休業明けの3歳未満児の入園希望がほとんどであり、園で受け入れは可能な状況である。しかし、年度後半になると、保護者が希望する園へ入園しづらな状況になることも認識している。

本市としては、新規施設の整備や子育て支援員の活用など、引き続き保護者の希望する園へ入園できるように、受け皿の確保を図って

いきたい。

今年度から子育て支援員制度を創設し、保育士の資格を持つ職員が2分の1以上でよいとする小規模保育施設B型が認可された。保育の質確保のためにも、安易なB型の拡大やC型の新設はすべきではないと思うが本市の考えについて伺う。

本市では、認可保育園と一体的に整備する場合に限り、小規模保育施設B型を認可している。これは年度途中において自宅や職場近くの保育園に入園させたいといった保護者の希望にこたえるための方策の一つとして導入したものである。

子育て支援員の就職後も継続的に研修を行うなど、B型の質の確保に配慮していきたい。また、本市では認可保育園の管理下で運営する場合のB型と、全員保育士で運営する場合のA型を原則とし、保育士がいないC型は認可しない方向で考えている。

※1 ハクビシン：体長50～75cm、体色はこげ茶色で鼻筋が白く、体全体が細長い夜行性の野生生物で、果実や種子などを餌としている。軒下などから家屋に侵入し、屋根裏などに住みつく場合がある。
※2 小規模保育施設：3歳未満の保育が必要な子供に対し、比較的小規模（利用定員6人以上19人以下）で家庭的な雰囲気の中で、きめ細やかな保育を実施するサービス。全員保育士の資格が必要なA型と、保育士資格が不要なC型、2分の1以上保育士がいればよいB型の3タイプがある。



細井 良雄 議員 (3期・共産党市議団)

TPP交渉の合意内容とその影響について

問 TPP交渉の合意内容が及ぼす本市への影響について見解を伺う。

答 国は、協定発効後の農業経営の安定に万全を期すため、攻めの農林水産業への転換を柱とした総合的なTPP関連政策大綱を定め、経営安定対策の充実等の措置など、より具体的な施策を打ち出しながら農家の不安払拭を図っている。

本市としては、協定発効後の情勢を見極めながら、がんばる担い手支援や新規就農者育成支援など、これまで以上に施策の充実に努めていく。

長岡市の米作を中心とした農業経営の実態と今後の対応について

問 米価の下落などによる中山間地域の農家の深刻な実態に対する認識とその考えを伺う。

答 中山間地域の活性化は地方創生の中でも大きな課題であり、山から海まで多様に異なる地域条件の中で固有の資源や人材を生かした地域の創意ある取り組みが大変重要であると思っている。本市では、今年度から若手芸人が実際に1年間和島地域で生活し、米作りを行っている。このことは、農業の振興が地方創生の中で1つの大きな流れになっていく証拠であり、長岡の農業のポテンシャルの高さを感じることができている。このポテンシャルを生かした観光・交流、商工、福祉との連携など、複合的な施策の展開が今後重要であると考えている。



関 充夫 議員 (3期・しん長岡クラブ)

長岡リジュベネーションにおける交流について

問 国内外の交流人口を増やすため、火焰型土器を東京五輪の聖火台にPRすべきと考えるが、本市の考えを伺う。

答 本市では、長岡市を含む4市1町で構成する信濃川火焰街道連携協議会を組織し、国への陳情活動のほか、全国の自治体に呼びかけて縄文文化発信サポーターズの設立・準備を行っている。これは火焰型土器を聖火台にする前に、縄文文化というものをもっと日本人自らも価値を知らなければいけない、そしてオリンピックの期間に様々な情報発信をしていくという考えである。

まずは縄文文化が世界に誇る環境共生型の日本固有の文化であり、その中に聖火台というのが位置づけられるように情報発信していきたい。

問 長岡リジュベネーションにおける交流人口の将来像を伺う。

答 長岡火花や各地域の宝による観光客の増加はもちろんだが、自然体験等によるグリーンツーリズムや教育旅行など、あらゆる機会を捉えて本市を訪れる人を増やしていきたい。

具体的には、観光や交流事業をきっかけとした顔の見える関係づくりや、息の長い交流を進めることにより、リピーターを増やし将来的な定住につなげたり、長岡ファンを増やしていくことが必要と考えている。



桑原 望 議員 (4期・無所属)

交流人口増加について

問 本市でのフィルムコミッションによる交流人口増加に向けての取り組みについて伺う。

答 本市はこれまで映画をはじめ、テレビドラマやCM、ミュージックビデオの撮影など、さまざまな分野でロケ地選ばれており、ロケ地マップの作成、ロケ地めぐりバスターの開催などを行っている。

問 コンベンションの誘致を推進するための本市の考えを伺う。

答 コンベンションの誘致は、年間を通じた交流人口の増加に向けた有効な施策と考えている。本市での開催実績は、平成23年度が54件、27年度は117件となっており、アオーレ長岡の完成により開催件数が倍増している。このことは、駅と直結し、交通便利性の優れたアオーレ長岡による効果が大きいと考えている。また、本市は、首都圏からの優れたアクセス環境のほか、ハイブ長岡やリリックホールなどの充実した受入施設も有している。



五十嵐 良一 議員 (1期・民成クラブ)

福島第一原子力発電所等の現地視察について

問 福島第一原発の事故を踏まえ、可視化された情報伝達システムが必要だと考えるが、本市の見解を伺う。

答 原子力災害において重要なことは、正確な情報に基づき慌てず整然と行動することであると考えている。

緊急時には、国や県から情報が入るとともに、事業者からは安全協定に基づき直接電話やメール、ファックスなどで通報が入り、さらに職員が派遣されることになっている。これらの情報の伝達は、緊急告

知FMラジオ、エリアメール、テレビ、市ホームページなどあらゆる手段を活用し、市民に対し迅速に提供していく。

問 福島第一原発の現地視察の結果を今後の広域避難にどうつなげていくのか伺う。

答 今回の視察では、徹底した安全対策に加え、広域避難における国や県など関係機関による支援体制の構築が重要であると認識した。

現地視察した特別養護老人ホームでは、施設内外の放射線量などを考慮した冷静な対応をとり、事故後は福島県内の社会福祉施設と連携し、県や社会福祉協議会と相談しながら、最終的に東北6県との応援協定締結に至っている。

この視察報告書については、国や県などの関係機関へ提供した上で、今後の支援体制の構築議論に生かしてほしいと考えている。



笠井 則雄 議員 (5期・共産党市議団)

子どもの貧困について

問 子どもの貧困対策の重要性に対する本市の認識について伺う。

答 子どもの生まれ育った環境によって将来が左右されたり、貧困の連鎖によって将来が閉ざされるようなことがあってはならない。子どもの健やかな成長のためには、必要な環境の整備、あるいは教育の機会均等を図る貧困対策は、極めて重要な課題であると認識している。

昨年の12月に新教育委員会制度に基づき策定した教育大綱では、5つある指針の1つに「保育・教育にかかる費用負担を軽減し、家

庭の経済状況にかかわらず子どもたちが安心して学べる環境づくりを進める」ことを掲げたところである。

問 今国会で成立した児童扶養手当法の改正内容と実施時期等について伺う。

答 このたびの児童扶養手当法の改正内容としては、経済的負担が大きい第2子及び第3子以降の加算額が増額されるものである。具体的には、第2子の月額加算額5千円が最大1万円に、第3子以降の1人当たりの月額加算額3千円が最大6千円となり、それぞれの世帯で所得に応じて増額される。

児童扶養手当の拡充は、28年8月分から適用されることとなり、本市としては国の改正内容に沿った準備を進めていきたい。



関 貴志 議員 (5期・無所属)

柏崎刈羽原発の再稼働問題について

問 過去の答弁を踏まえて考え、国や事業者の検討結果をうのみにせず市として再稼働の是非を判断することが、本市として基本姿勢であると理解している。

新規制基準の適合性審査に合格した場合、市は国・県・事業者などから再稼働に対する同意を求められる立場にあるのか。

答 再稼働については、国はそれぞれの地域の実情に応じて理解と協力を求めるとしているが、

問 再稼働に対する市の判断を国・県・事業者などに伝える仕組みが整っていない現在の状況で、市は何のために判断をするのか。

答 柏崎刈羽原発については、現在、適合性の審査中であり、審査結果が明らかになった場合には、国・県・立地自治体等の判断を見極めながら判断をしたいと考えている。何もしないと判断をする場合もあるかもしれない。

●**その他の質問**
化学物質の削減について

※3 フィルムコミッション：映画、テレビドラマ、CM、商業写真など、あらゆるジャンルのロケーション撮影を誘致して、実際のロケをスムーズに進めるためのサポート業務を行う非営利団体をいう。

特別委員会の活動を報告します

(6月定例会において各委員長から報告された中間報告の抜粋です。)

まちづくり・新エネルギー対策特別委員会

自動車を運転しない高齢者等の交通弱者の日常生活の足をどのように維持・確保していくかが重要な課題であるとの認識のもと、「市民の足（交通手段）の確保対策」について検討し、次の3項目を提言としてまとめました。

①既存路線バスの維持について

平成14年の道路運送法の改正以降、バス事業者の判断により届け出だけで不採算路線を廃止できるようになったため、利用者の少ない路線は廃止の危機にあります。このため、その維持に向けた更なる取り組みなどを求めます。

②地域生活交通について

現在、小国地域、川口地域、山古志地域・太田地区の3地域で運行されている地域生活交通を将来にわたって維持していくためには、過度な補助金に頼ることなく、より効率的な運行を目指し、地域のニーズに合わせて住民主体で運行の見直しを図る必要があります。

③公共交通利用促進のための取り組みについて

市民全体が意識して公共交通を積極的に利用することが求められているほか、バス停上屋整備をはじめとする公共交通の利用環境の改善などが必要となります。

持続可能な地域生活交通を導入・運営していくためには、地域住民が主体となり、自分たちの手でつくり、守り、育てていくことが必要であることから、市民、交通事業者、行政が連携・協働し取り組んでいくことが重要です。



山古志地域で運行しているコミュニティバス
(提供:特定非営利活動法人中越防災フロンティア)

人口減少対策特別委員会

長岡版総合戦略「長岡リジュベネーション～長岡若返り戦略～」に沿った中で調査・研究を行い、とりわけU・Iターンの促進支援策に関し、今後必要な施策として次の5項目を提言としてまとめました。

①U・Iターンに関する窓口体制の整備

就職先、住居、受け入れ地域の調整がワンストップで総合的に対応できる窓口体制の更なる推進を提案します。

②意識調査の実施

進学や就職で長岡を離れた若者に対し、成人式などを活用しUターンなどに関する意識調査の実施を提案します。

③情報発信手段や方法の検討

家族間でU・Iターンについて話す機会を設けるため、U・Iターンに関する事業などをまとめた冊子の全戸配布を提案します。

④女性が活躍できる環境づくり

女性のライフステージのニーズに合わせた支援策の充実のため、あらゆる分野で女性自身からの声が政策に反映される仕組みづくりを提案します。

⑤お試し移住の推進

地方移住を希望する若者（特に女性）に長岡での生活を半年程度体験してもらい、その中で長岡の魅力を発見し情報発信することで移住促進につなげることを提案します。

人口減少に歯止めをかけるのは市民であり、事業の実施に当たっては、行政と市民の協働が必要不可欠であり、今後も長岡リジュベネーションの進捗状況を注視するとともに、実効性のある事業が実施されるよう提言していきます。



地方移住のための空き家見学の様子
(提供:長岡市)

新しい委員を選任しました

6月定例会において議会運営委員会、常任委員会の委員の改選を行いました。

各常任委員会は、関係する部局の事務や議案、請願などを専門的に審査します。なお、委員の任期は1年です。

◎委員長 ○副委員長

議会運営委員会

(定数12人 現員12人)
議会運営に関連する事項を協議

◎松井 一男 ○永井 亮一 高見 美加
中村 耕一 加藤 尚登 丸山 広司
諸橋 虎雄 丸山 勝総 水科 三郎
長谷川 一作 高野 正義 小坂井和夫

常任委員会

総務委員会

(定数10人 現員9人)
総務部、財務部、消防本部などに
関連する事項を審査

◎高見 美加 ○笠井 則雄
池田 和幸 中村 耕一
永井 亮一 杵渕 俊久
古川原直人 松井 一男
加藤 一康

文教福祉委員会

(定数8人 現員8人)
福祉保健部、教育委員会などに
関連する事項を審査

◎丸山 広司 ○関 充夫
五十嵐良一 池田 明弘
深見 太郎 諸橋 虎雄
長谷川 一作 酒井 正春

議会情報を発信中！

本会議・委員会の詳細は、会議録またはホームページ上の会議録検索システムをご覧ください。

(6月定例会の本会議・常任委員会の会議録は8月下旬発行予定です)

■会議録をご覧になれる場所

アオーレ長岡（東棟1階行政刊行物コーナー、東棟3階情報公開コーナー、西棟4階議会事務局）、各支所、市立図書館など

■会議録検索システム、インターネット録画中継、議会の日程⇒「長岡市議会ホームページ」にアクセス

長岡市議会

産業市民委員会

(定数8人 現員8人)
市民部、環境部、商工部、農林水産部などに
関連する事項を審査

◎山田 省吾 ○加藤 尚登
田中 茂樹 服部 耕一
大竹 雅春 藤井 達徳
小熊 正志 小坂井和夫

建設委員会

(定数8人 現員8人)
都市整備部、土木部、水道局などに
関連する事項を審査

◎広井 晃 ○細井 良雄
丸山 勝総 桑原 望
水科 三郎 高野 正義
関 貴志 五井 文雄

6月定例会 常任委員会の所管に関する質問

各常任委員会では、議案審査のほかにそれぞれ担当する事業等について質問する「所管事項に関する質問」を行っています。ここでは、質問の一部を掲載しています。詳しくは会議録（8月下旬発行予定）、インターネット録画中継をご覧ください。

総務委員会

- 柳原分庁舎跡地の具体的な計画と利用方法
- 育児と仕事の両立のために重要なワーク・ライフ・バランスの推進
- 3大学1高専との包括連携協定締結後の学生への支援
- 災害発生時の支所職員への情報伝達体制
- 公表された信濃川浸水想定区域図に対する本市の対応
- 地域おこし協力隊の導入時期に対する考えや応募の現状
- 福島原発事故避難者への本市の支援の取り組み

など

文教福祉委員会

- 認知症行方不明者の現状と今後の解消に向けた取り組み
- 認知症の早期診断・早期対応における認知症初期集中支援チームの取り組みの成果と課題
- 臨時福祉給付金の申請受付など今後の事業スケジュール
- 介護保険サービス利用の相談を受けた場合の要介護認定の申請受付
- 火焰土器モニュメント等の活用
- 中・高校生の放課後の居場所機能を持つ施設の必要性

など

産業市民委員会

- 大規模イベント時における中心市街地での各個店への誘客の取り組み
- 若者の米離れと米の消費拡大策
- 「世界が先生－国際人育成事業－」の周知方法や今後の取り組み
- 食品ロスの削減に向けた取り組みと今後の方向性
- 縄文文化・火焰土器を活かした観光誘客
- 観光案内所やまちなか観光プラザの運営状況
- 不用品回収業者に対する廃棄物処理の許可や今後の対応

など

建設委員会

- 新潟空港への新幹線延伸の取り組み
- 本市における街路樹の本数とその苦情の内容・件数
- 蔵王橋の現況交通量と長岡北スマートICの計画交通量
- 新技術・新工法の公共事業への取り組み
- 市内におけるパークアンドライドの取り組み状況と塚山駅のパークアンドライド駐車場及び消雪施設の整備

など

人権擁護委員の推薦に同意

人権擁護委員に次の方を推薦することに同意しました。

藤崎 和子 氏（新任）

会派別議案等賛否一覧表

6月定例会

○：会派全員が賛成 ×：会派全員が反対

会派別議員名簿（6月27日現在）

市民クラブ	松井 一男	丸山 広司
	加藤 尚登	高見 美加
	田中 茂樹	池田 和幸
	深見 太郎	大竹 雅春
	広井 晃	古川原直人
	丸山 勝総	長谷川一作
	酒井 正春	高野 正義
五井 文雄	小熊 正志	
しん長岡クラブ	杵淵 俊久	山田 省吾
	関 充夫	永井 亮一
	水科 三郎	
共産党市議団	笠井 則雄	諸橋 虎雄
	服部 耕一	細井 良雄
民成クラブ	加藤 一康	五十嵐良一
	小坂井和夫	
長岡市公明党	中村 耕一	池田 明弘
	藤井 達徳	
無所属	A 桑原 望	
	B 関 貴志	
	C 関 正史（議長）	

議案等	会派名 ()は所属議員数	市民クラブ	しん長岡クラブ	共産党市議団	民成クラブ	長岡市公明党	無所属A	無所属B	議決結果	
		(16)	(5)	(4)	(3)	(3)				
市長提案等	専決処分	市税条例等の一部改正 ほか4件	○	○	○	○	○	○	承認	
	補正予算	平成28年度一般会計	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		平成28年度国民健康保険事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		平成28年度介護保険事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		平成28年度と畜場事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	制定	社会福祉センター条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		条例一部改正	長岡市議会議員及び長岡市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例	○	○	○	○	○	○	○
	運動公園条例		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	志保の里荘条例		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
その他	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に係る職員の員数等の基準に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	風致地区条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
その他	市道路線の変更	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	契約の締結（柳原分庁舎解体工事）ほか5件	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
人事	財産の取得（水槽付消防ポンプ自動車）ほか8件	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	同意	
請願	労働時間と解雇の規制強化を求める意見書の提出に関する請願	×	×	○	○	×	○	○	不採択	

市議会の活動状況

5月		22日	文教福祉委員会
11日	議会運営委員会	23日	総務委員会
	人口減少対策特別委員協議会		議会運営委員会
6月		27日	本会議（最終日）
6月		7月	
6日	まちづくり・新エネルギー対策特別委員協議会	11日	克雪・危機管理・防災対策特別委員会
10日	議会運営委員会	11日	大河津分水・長岡東西道路整備推進特別委員会
	人口減少対策特別委員会		総務委員会、文教福祉委員会市内現地視察
14日	議会運営委員会	14日	産業市民委員会、建設委員会市内現地視察
	本会議（招集日）	15日	議員協議会
15日	本会議	19日	議員協議会
16日	本会議	8月	
20日	建設委員会	5日	議会運営委員会
21日	産業市民委員会	10日	議員協議会
	まちづくり・新エネルギー対策特別委員会		

5月5日 ドイツ・トリアー市を訪問

5月5日から8日に関正史議長が姉妹都市であるドイツ・トリアー市を訪問しました。
 来年の姉妹都市調印10周年記念事業に向けた打合せを行ったほか、長岡日独協会総会に出席しました。
 また、滞在中に歓迎セレモニーが催され、和やかな雰囲気のもと両市の交流を深めました。



ゲストブックにサインをする関正史議長

7月14日・15日 常任委員会が市内現地視察を実施

市議会では、議員の調査研究の一環として、毎年市有施設や民間施設などを視察しています。
 今年は7月14日に総務委員会と文教福祉委員会が、15日に産業市民委員会と建設委員会の委員がそれぞれ合同で視察を行いました。

総務委員会・文教福祉委員会（14日）

- マンマ・サポート・プロジェクト長岡（福住1）
- 馬高縄文館（関原町1） ●子育ての駅みしま「もりもり」（上岩井）
- 西部丘陵東地区（火力発電所予定地・深沢町ほか地内）



子育ての駅みしま「もりもり」



馬高縄文館

産業市民委員会・建設委員会（15日）

- 都市計画道路榎山町亀貝線（城岡3地内） ●与板ビール園（与板町与板）
- 長岡北スマートIC（上野町ほか地内）
- 西部丘陵東地区（ヨネックス(株)・高頭町）（火力発電所予定地・深沢町ほか地内）



工事中の長岡北スマートIC（平成28年度完成予定）



工事中の与板ビール園（7月30日オープン）

7月19日 議員協議会を開催

国土利用計画（長岡市計画）の計画案について、市から説明を受けました。この計画は、市の区域について定める総合的かつ計画的な国土の利用に関する計画であり、市における土地利用に関する行政上の指針となるものです。

議員協議会では本市の区域における国土の利用に関する基本構想などが示され、質疑や意見交換を行いました。



国土利用計画について市から説明

7月28日・29日 熊本県阿蘇市町村議長会が本市を視察

平成28年熊本地震からの復旧・復興にあたり、阿蘇市町村議長会が本市を訪れました。

中越大地震からの復旧と復興の取り組み、防災計画や防災体制のほか、震災後の課題や問題点などについて活発な質疑を受けました。

山古志地域・木籠集落の水没家屋のほか、やまこし復興交流館おらたるや竹沢団地復興住宅などの視察を行いました。



山古志での行政視察の様子

8月1日 長岡市平和祈念式典に出席

今年も長岡市主催の「長岡市平和祈念式典」が、アオーレ長岡アリーナを会場に開催されました。

式典の始めに黙祷がささげられた後、森市長、関正史議長のあいさつ、戦災殉難者遺族会代表などによる献花、空襲体験者による長岡空襲のお話、高校生による非核平和都市宣言の朗読などが行われました。



式典であいさつをする関正史議長

8月10日 議員協議会を開催

今後の市政について、市長から説明があり、その中で市長の職を辞し、10月16日執行予定の県知事選挙に立候補することが表明されました。



今後の市政について市長から説明

森市長は長岡市出身の67歳。東大卒業後、旧建設省に入省し、建設省住宅局地域住宅計画官を経て、平成11年に長岡市長選挙に立候補し初当選しました。現在5期目。

また、平成21年6月から現在まで、4期連続で全国市長会会長を務めています。

